



潮来市

平成13年10月

第103号

議会だより

発行責任者 議会議長 中野庄吾

編集者 議会広報編集委員 〒311-2493 茨城県潮来市辻626 電話0299-63-1111(FAX)0299-80-1100



第三回定例会

○定例会概要 2～3	○議会行事 18
○一般通告質問 4～15	○議会を傍聴して 19
○議員活動日誌(6月～9月) 16	○議会へ一言 20
○研修会報告 17	

こんなことをきめました

平成13年度補正予算など18議案を可決

第3回定例会は、9月18日から9月21日までの4日間にわたり開催されました。主な議案は、条例の制定・改正5件、補正予算5件、認定3件、人事2件、意見書の提出等3件です。一般通告質問については、6名の議員が登壇し、執行部の所信が問われました。

条例の制定・改正

住居表示・町界町名
整理審議会の設置

潮来市住居表示・町界町名審議会条例が制定されました。これにより、住居表示整備事業及び町界町名整理事業の促進が図られます。

特別職報酬等審議会の設置

潮来市特別職報酬等審議会条例が制定されました。特別職の報酬等については、これまで行方郡町村会で審議しておりましたが、市制施行に伴い、市単独で設置する必要があるため制定するものです。

幼児の医療費負担の無料化

潮来市医療福祉費支給に関する条例の一部が改正されました。これは、合併に伴う主要施策及び少子化対策の一環として「幼児」の医療費負担の無料化を図るものです。

(支給対象年齢)

0歳以上3歳未満



義務教育就学前

人事

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の候補者として次の方が、推薦されました。

菅澤 静男さん

上戸二二五八番地八

昭和三年七月二十日生

松本 久男さん

延方乙一七六六番地二七八

昭和十五年三月二日生

教育委員会委員の任命

潮来市教育委員会委員に次の方が、任命されました。

藤崎 悦男さん

辻一四二八番地二

昭和六年十一月十五日生

補正予算

一般会計

平成十三年度の一般会計予算歳入歳出それぞれを二億八千六百九万六千円を追加することを可決しました。

補正後の予算は、百六十億二千九万六千円となります。

国民健康保険特別会計

平成十三年年度の国民健康保険特別会計予算歳入歳出それぞれを三千四百四十六万六千円を追加することを可決しました。

補正後の予算は、二十八億七千三百五十五万三千円となります。

老人保健特別会計

平成十三年年度の老人保健特別会計予算歳入歳出それぞれを三千六百七万円を追加することを可決しました。

補正後の予算は、二十三億五千九百三十一万五千円となります。

下水道事業特別会計

平成十三年年度の下水道事業特別会計予算歳入歳出それぞれを四百四十三万三千円を追加することを可決しました。

補正後の予算は、十七億二千四百六十八万一千円となります。

介護保険特別会計

平成十三年年度の介護保険特別会計予算歳入歳出それぞれを四千五百九十九万五千円追加することを可決しました。

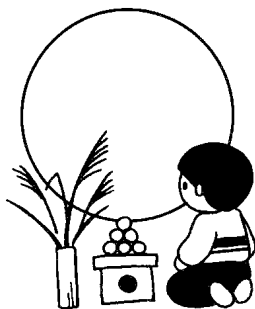
補正後の予算は、十一億四千四百五十三万五千円となります。



決算特別委員会を設置

平成十二年度潮来町水道事業会計及び平成十二年度牛堀町水道事業会計、平成十二年度牛堀町工業用水道事業会計の決算認定については、十七名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、この委員会に付託し審議することになりました。

委員長には、小沼昭郎議員、副委員長には羽生征司議員が選出されました。次の定例会までに内容を審査し、次の定例会で委員会の報告があります。



請願・陳情の審査結果

受付番号	件名	審査結果
請願第2号	食中毒防止に関する請願	教育福祉委員会付託
請願第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	採 択
請願第4号	ゆたかな教育を実現するための教育予算の充実を求める請願	採 択
請願第5号	国に対して「緊急地域雇用特別交付金事業の改善・継続」と「緊急の就労事業」の意見書の提出を求める請願	環境経済委員会付託
陳情第1号	園児・児童・生徒の安全確保についての要望書	採 択
陳情第2号	「消防機庫の建替えに対する財政支援」について	採 択

会議経過

九月十八日（火）本会議

開会

市長あいさつ

提出議案審議

出席議員 三十三人

（傍聴者）〇人

九月十九日（水）休会

九月二〇日（木）本会議

市政一般に関する質問

（五人）

出席議員 三十三人

（傍聴者 二三人）

九月二一日（金）

市政一般に関する質問

（一人）

追加議案審議

請願・陳情審査

閉会

出席議員 三十四人

（傍聴者）〇人

第三回定例会の傍聴者は、二人でした。

議会を傍聴して 市の動きを知りましょう。

受付けで住所・氏名を記入すれば
誰でも自由に傍聴できます。



一般質問

市政の課題を問う（要約）

一般質問の質問・答弁は
質問者が編集したものです。

市民にやさしいまちづくりを

山 沢 三千子 議員



古高地地区産廃問題と 他地区の対応について

山沢議員

次の三点を問う。

- 一、古高地地区産廃の現状と今後の対応について。
- 二、市内各地の産廃、ゴミの山等の確認、指導、対応について。
- 三、前川オイル系流入の実情と対応について。

再度の代執行は 行わない

岡野環境経済部長

一、古高地地区産廃であるが、平成六年六月頃から産廃が捨てられ、全量は約一万六千立米である。平成十一年十二月から、平成十二年一月にかけ搬入業者が、三千立米を処理している。本年三月の代執行で一千七百立米を処理している。県に問い合わせた結果、再度の代執行は行わないとのことである。市の対応であるが、本年一月十六日に、県が当事者に全量撤去の措置命令を出している。この完全履行を文書、又、直接指導をして行きたい。

二、随時撤去している。確認であるが、監視員、土地所有者、市民からの通報が主なものである。現在二十九名の監視員をお願いしているが、あとをたない現状である。強化対策として、集配業務をしている潮来郵便局にお願いして、防止に取り組みたいと現在協議中である。九月までに十七件発生、うち一件が未解決である。

生産調整の九月現在の 状況について

山沢議員

潮来、牛堀地区の状況と今後の対応について伺う。

組織を一本化して 協議して行きたい

岡野環境経済部長

潮来地区の割当面積は、五百十九ヘクタール、実施面積は五百十五・六五ヘクタールで九十九・三五％。牛堀地区は百三十九ヘクタールの割当面積、百二・二％の達成率である。潮来・牛堀の一本化については、今年度中に組織を一本化して行きたい。地区における生産調整率の

観光の振興について 問う

山沢議員

次の三点を問う。

- 一、四季を通してにぎわいのある散策コースの今後の計画について。
- 二、駅前の観光案内板と散策コースの誘導案内表示の統一について。
- 三、前川市街地側の植栽について。

住民と一体となった 観光の振興をめざす

岡野環境経済部長

一、市の観光ルートづくりは大事なことと認識している。観光協会等のみなさんと協力して四季折々のコースを設定し、観光マップづくりを作成して、PRをして行きたい。

二、駅前の観光案内板は、市全体を網羅したものを考えてい

一 般 質 問

る。現在、市のイメージを広く人々に発進するためのシンボルマークやイメージカラー、サインマニアルを企画部で作成中である。「シンプルで人にやさしい」看板になるよう努力する。

三、出島橋から上米橋までの植栽であるが、昨年遊覧船業者と花菖蒲協会が自主的に、早咲きのあやめを植えている。今後も地元住民等の協力を得て実施して行きたい。

再質問

山沢議員

あやめ祭期間だけにぎわいがあればと考えている人も多いのではないか。これでは活力ある観光潮来の発展を妨げているのではないか。観光にたずさわる人達の自助努力、それをサポートする行政のあり方が大きな課題と考える。ご意見を伺う。

答弁

今泉市長

あやめ祭も五十回を迎えた。その反省会などで、一番の苦情は客引きの問題である。本年は市の方でも強い方針でのぞみ、麻生警察署に特別に指導をしていただいたところである。百人の観光にたずさわる人達の九十

九人がすばらしいもてなしをしても、一人の心ない行為により、すべてに影響を与えることになる。市としても機会あるたびにもてなしの心と、もう一度潮来へ来て見たいという接客をしてほしいとお願いしている。

ソフト面では、財政とにらみあわせながら、前川周辺の整備を駅前整備等と連動して計画を進めて行きたい。私の根本的な考え方は、市の整備は観光客のためでなく、そこに住む人達が誇りをもてるような整備をしたいということである。

市道の未舗装箇所と今後の計画について

山沢議員

現在市道の未舗装箇所はどれ位あるか。又、区長、個人より要望のあったもの、計画の実施に至ったものは、どれ位あるか。

未舗装箇所の要望は 一〇五箇所へのぼる

鈴木建設部長

市の認定道路は、実延長で、六四一・八四一米、舗装延長は、平成十二年末で三五〇・九七八米である。舗装要望は、各区長からの要望と、市の主体的な整備で実施している。未舗装箇所の要望は、一〇五箇所、実延長

二二・四八九米で、改良、排水、舗装の合計は、二四二路線、(潮来一九二路線、牛堀五〇路線)金額として約五十億(潮来三十五億、牛堀十五億)である。実施に至ったものは、五十億に対し、一〇％弱である。

小泉片岡地区の 排水計画について

山沢議員

平成九年、十年の一般質問に対する答弁以降の状況について問う。

下流より順次 検討していきたい

鈴木建設部長

市全体の総合雨水排水対策計画の樹立を進めている。片岡地区の排水計画については、前川より、アンコウ川、国道五一号線、潮来高校、片岡地区へと、計画を早急にとりまとめ、検討してまいりたい。



一般質問

小泉「改革」による 市税収減と住民への打撃！

沼里 潤三郎 議員



不況から恐慌へ 大幅市税収入減へ

沼里議員

平成十三年度の予算で、潮来市の税収が5%も減った。自民党悪政による不況と金持ち減税のためである。不況や失業は決して天然自然の現象ではない。資本のあくなき利潤追求と労働者国民大衆への搾取。再生産の過程さえ考えない目先の儲け追求によって起きる資本主義特有の現象である。バブル崩壊後、一向に有効な景気回復策はとられないことなく経済は停滞を続け

消費税導入と引き上げ、医療保健年金制度改悪による大規模国民負担増と将来不安から消費市場は更に萎縮し不況を深刻化している。これが住民の生活を直撃し市の収入減のもとになっている。今こそGDPの六割以上を占める一般消費を高める政策を取るべきなのに逆にこれに打撃を与える政策ばかり取り、又日本の企業の九十九%を占め、全勤労者の八割を占める中小企業の振興策をとるところか逆に切り捨て策をとっている。地方産業で大きな役割を担う農業では、タッター握りのアメリカ穀物メジャーのための減反政策、日本農業つぶし政策、二六〇万農家の整理政策がとられている。これで日本産業の回復も地方経済の振興もあつたものではない。バブル崩壊後、巨大資本は、その投機資金に日本の銀行が中小企業向資金を打ち切る。いわゆる不良債権処理を要求してきた。これは同時に、アメリカの投資家にとって投資しやすい環境を狙っている。何でもアメリカの

言いなり、巨大資本言いなりの小泉にとつての「改革」の大きな柱となっているが、日本経済と労働者中小企業にとつてはたまたまのものではない政策である。巨大資本関係の会社銀行はリストラを条件に借金は棒引き、中小企業は資金引き上げ取りつぶし、この対象になる中小企業は三〇万社ともいわれ、失業者は新たに百数十万人も増える。今でさえ失業者が5%に達し（実質十数%）失業者が三三五万人もいる。（実質七百万人以上）更にIT政府の大々的な支援策でリストラ首切り策、資本の海外移転（下請けも海外頼り）産業の空洞化を推進した。これが消費と生産の矛盾を激化させるだいたい大本となっている。又アメリカの証券株式市場を支えるジャパンマネー創出のための世界に例を見ない超々低金利策（日本の公定歩合はアメリカの三〇分の一）で国民は三〇兆円から四〇兆円の価値を奪い取られ（銀行は大儲け）将来不安、老後不安を高めている。昨年末より永遠の繁栄を誇ったアメリカ経済のITバブルがはじけて、アメリカ経済は後退局面に入っている。私は早くからこの事を指摘して来た。アメリカは更に日本の資金で自分達の株式証券市場

を支える為半導体関連産業を中心に殆どの巨大資本が（大儲けしている所を含め）次々と首切り計画を発表し、世界同時不況、恐慌の様相を示しているとき、こんな政策を進めたら、日本は大恐慌を来す。不況が、リストラが今日の不良債権を生み出してこれを増やし続けているのであって、不良債権の処理が景気を良くするなど言うのは全くアベコベの理論である。リストラ首切りを規制し、産業空洞化を規制し、お互いに仕事を待ち合い分かち合う考えに立つて、サービス残業や残業を賃下げなしでなくし、ヨーロッパ諸国並の賃下げなしの労働時間制にし、中小企業の経営を直接支援すれば消費購買力は高まり景気を回復させることが出来る。ドイツ並みの千五百労働時間制にすれば、八一七万人の雇用増と二一兆円の雇用増が出来る。ドイツに出来て日本に出来ないわけではない。それでなくてさえ巨大資本は百数十兆円の内部留保を持ち、国地方で二七兆円も税金をまけてもらっている。もつとさちんと所得に応じた累進課税制をとれば税収は大幅に増え消費税値上げは必要ない。小泉は今一番必要なこうした政策、国民の暮らしを応援する政策を一向

にとろうとせず、銀行の儲けに邪魔だからと郵便局をなくし、公営住宅の建設も打ち切り、公的住宅資金制度をなくし、奨学金制度をなくす。その他公共性の格の制度を事毎く業者の儲けの対象化、効率化、民営化するという。正に福祉国家、社会保障制度の充実に逆行する政策を改革と称している。小泉改革によれば、地方自治体への支出減を改革の三本柱の一つにしている。当市の収入減を市民への打撃、負担増は大きいと思うかどうか。

国は補填を行う 悪影響がない様願う

箕輪総務部長

不況の影響で前に比べ八九〇万円の減収となった。税率の引下げは、景気対策として行っている。収入減分は国は補填は行った。不良債権の処理は悪影響が出ない様願っている。

健保本人三割負担へ 老人医療二割負担化 七〇歳〜七五歳老人除外化

沼里議員

小泉改革の中で特にヒドイのが医療制度の改悪である。彼の弱者攻撃の端的に現れた部分が医療福祉の改悪方針である。日

本の福祉が西欧諸国に比べ著しく遅れている。イギリス、ニュージーランドでは全て無料である。何か見劣りしないですか。イギリスでは食料品や生活必需品へは消費税非課税なので全く消費税の負担なしでも生活出来る。

国の負担を逆に減らし続け個人負担を増やし続けているのは日本だけである。小泉は健保本人負担を三割にし、老人医療を二割にし、老人医療を別立て保険にし新たに保険料をとるという。

医療の上限も撤廃し、莫大な本人負担を押しつけ様としている。又、七〇歳〜七五歳を老人医療から除外するという。来年は当然自然増分の医療費国庫負担分を二八〇〇億円もカットする

という。福祉の充実は国の施策の目的でなければいけない。失業者をなくし健保の支え手を増やせば、又国の負担を上げれば、又公共事業に五〇兆円、社会保障に二〇兆円、先進六ヶ国分を合わせたよりも日本一国の公共事業が大きいという異常な財政支出を改めれば、イギリス並に医療費の無料化はできる。日本よりはるかに生産力の小さいイギリス、スウェーデン等に出来ることが何故日本に出来ず反対のことばかり行うのか。病人や老人には大変痛い「改革」と思

うがどうか。自然増の削減は当市にも影響があると思うがどうか。

老人医療費が増えている 自己負担は大幅負担増に

内田福祉部長

近年老人が増え医療費も当然増えている。それでこの様な施策を出したと思う。この様なことを進めれば自己負担は大幅負担増になる。

大生原・津知幼稚園を なぜ廃園にするのか

沼里議員

幼児施設検討委員会でイキナリ大生原幼稚園を平成十四年から、津知幼稚園を十五年から廃園にする答申が出された。これは小泉流の公共性を投げ捨て民営化、効率化を最優先とする路線である。中でもこれから公立幼稚園で二年保育をやる。時間延長の保育をやるというならば、大生原と津知では頭からそれを排除するなど言語道断である。二年保育や時間延長の態勢をとって保育を行えば園児は今の倍以上に増え待機児童も解消出来る。父母の願いにも叶っている。私は早くから、現場の声、父母の声に耳を傾けた、真の意味で少子化対策になる様なエン

ゼルプランを策定し、幼稚園の二年三年保育、保育園幼稚園の多様な保育体制を確立する様要望してきた。これらを全く無視して何だ！ペテンではないか。お母さん方の要望に応じた対応を図れ！公機関の公共性を何だと思っているのですか。

答申の要望に答える 効率性で廃園に

吉田教育部長

答申の要望には答える。いかに効率的かで両園は廃園とする。大生原幼稚園は十一月中に結論を出す。

(その他の質問)

◎道路特定財源廃止もインチキ、逆に都市再開発化で公共事業は膨らむ！

◎消費値上げ、インフレ政策導入で住民生活は手痛い打撃。

◎日本版四〇一K年金原資割れの危険、巨大資本のリストラ不況による積立金不足帳消し策。(最低七万円年金が望ましいと回答)

◎低所得者への介護保険料減免を求める。

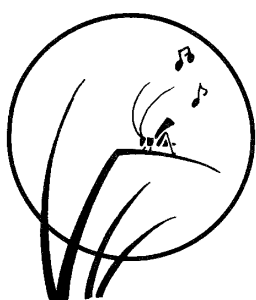
◎高すぎる国保税の引下げと元の様に国保証全員交付を

◎国連の米七〇%増産要求に答え減反中止を。米は二万円

政府買上げ、二百万トンも備蓄を、生産者には価格保証、所得保障、後継者育成で農業振興を二重価格制で消費者には安い農産物を。市独自の振興策を。

◎洪水の様な安い外国製品にはセーフガードを中小企業守れ。◎当市でも雇用増政策は焦眉。リストラ策を止め職員増で福祉・教育の充実ははかれ。

◎三〇人学級の早期実現と小学校低学年では二〇人学級を(欧米並みに)先生、保母さんの増員を。



一 般 質 問

牛堀地区小学校の統合について

吉 川 菊 夫 議員



統合小学校の 通学について

吉川議員

小学校の統合の話し合いで、旧牛堀町側と父兄の間では、通学については、遠距離通学になるので、バス通学にするという事で同意を取り付けたと聞いていますが、バス通学は間違いなく実行してもらえるのでしょうか。

送迎方法は考慮中

吉田教育部長

統合した場合、遠距離通学児童も出て来ますが、特に低学年の児童については、相当な負担になるので、市といたしましても何らかの方法で通学送迎は実施しなければならぬと考えております。現在の段階では、バス通学になるか、何になるかは、考慮中であります。

牛堀地区小学校三校 の統合について

吉川議員

牛堀地区の小学校、牛堀第一、第二、八代の三校が統合しますが、進捗状況は。

基本設計を計上中

吉田教育部長

本年度は、統合小学校の実施計画の基本設計を計上しているところで、どの業者にするか選定中であります。決まり次第、設計に入ります。

うしぼり幼稚園の 送迎について

吉川議員

うしぼり幼稚園の送迎について、今年度でタクシー代が打ち切りと聞いておりますが、市としては、来年以降もタクシー代を出す考えは無いのか。

三千円の負担を お願いしたい

吉田教育部長

今年度は、市が負担をしていますが、潮来地区の幼稚園については三千円のバス負担を父兄におねがいしているのですが、うしぼり幼稚園についても来年度から三千円の送迎代をお願いしたい。

要望

吉川議員

幼稚園の送迎のタクシー代ですが、潮来の幼稚園と合わせるということですが、極力圧縮してお願いします。

横須賀上戸川地区の 休耕田について

吉川議員

今年も上戸川の休耕田にコスモスを蒔いてもらいましたが、いつまで地主にお願いして蒔い

てもらうのか。また、芸能人の美術館の構想はどうなっているのか。

平成十五年まで契約

坂本支所長

横須賀団地のコスモス祭については、県の花の香る里作りとして平成十年度から実施している。面積は五・七ヘクタール、地権者については十一名であります。地権者の方との契約については、平成十五年までお借り出来るという約束になっております。なお、十五年以降も協力をお願いしたいと思っております。

構想を見直す

本宮企画部長

芸能人の美術館については、地域の活性化のために合併記念事業として、旧潮来町長・旧牛堀町長・橋本知事との構想の中から出てきたもので、平成十二年合併記念行事の記者会見で発表になったものです。市としては、芸能人の作品を中央公民館において展示をした。この美術館について、住民の方、議会、専門の方から意見が寄せられ、疑問点が多かった。五点ほどの課題が残っております。先ず、観光資源としての集客性のこと

で、北側で出来るかと言うことと、二点目では管理運営する時の事業の採算性ですけれども人件費を含むと年間七、八千万円の市の負担が生じる。さらには、芸能人の作品が文化の向上性があるのかどうか。財政的問題投資効果と今後投資する費用が現在十四億円の計画で周辺に舟溜りをつくる。周辺整備にかなり金がかかることから、投資効果の問題更に作品の収集、周辺施設の投資効果の問題がありまして、この構想を見直したい。今後につきましては、公共施設検討委員会を発足し方針を出したい。横須賀地区については、小学校の跡地ともども視野に入れて検討して行きたい。

要望

吉川議員

横須賀の休耕田については、森内町政からの懸案事項でございますので、行政当局によりしくお願いしたい。

観光農園利用について

吉川議員

潮来市の花「あやめ」の苗を農家に作ってもらい、道の駅で販売してはどうか。

是非販売したい

岡野環境経済部長

潮来市の花「あやめ」は、郷土の自慢を出来る花なので、是非ともお土産品として道の駅で販売したい。販売方法については、検討の余地がありますが、是非販売したい。観光農園にありやめの苗の植栽については、現在、企画部の方で利用を検討しているところで、その結果を踏まえて検討して行きたいと思います。



牛堀統合小学校建設予定地

一般質問

前川整備基本計画の

進捗状態について伺う

小沼 英明 議員



前川内水排水ポンプ場について

小沼議員

前川内水排水ポンプ場の設置位置案について伺う。

早期着工の為

関係機関と協議する

本宮企画部長

本年八月二十七日に霞ヶ浦工事事務所、茨城県、土木事務所、潮来市の四者協議を行い、前川河川改修事業の推進と内水排水対策ポンプ場設置の具体化のた

二列河川計画は

小沼議員

前川周辺整備基本構想による二列河川計画が排水ポンプ場の位置によって必要性がなくなるとの説は本当か。

縮小はあっても 無くなる事はない

本宮企画部長

国土交通省の見解では、「ポンプ場へ内水を引く為に二列河川で流量を保証するのであり、流量等を概算で計算したところ縮小はあるかもしれないが、無くなる事は無いと考える。」とし、二列河川は前川整備の目玉でもあるから十分に考慮して整備の要請を行って参る。

佐原市との交流は

小沼議員

佐原市との舟運復活、本年の継続事業内容と交流の今後は。

交流・連携を 推進して参る

本宮企画部長

今年度は、観光担当による連携を予定し、「潮来市観光振興計画策定」調査事業に佐原市に参加要請したが参加は無かった。しかし茨城県長期総合計画では、潮来佐原両市の交流の支援が明言され、今後は、県境を越えたモデル事業として水郷と文化を共有する佐原市に働きかけ交流・連携を推進して参る。

大門河岸整備について

小沼議員

前川沿いには、大門河岸・天王河岸・津軽河岸・仙台河岸・上米河岸等水運で栄えた河岸跡がある。本年大門河岸跡そばに公園を計画されているがその計画と今後を伺う。

地元で親しまれる 河岸整備を目指す

本宮企画部長

本年度モデル事業として大門河岸の整備を茨城県と共同です

堤防整備と自転車の 貸し出しについて

小沼議員

前川の堤防を人や自転車が通れるよう河川整備の中で、できるか。また、放置自転車をシルバー人材センターで再生し無料で観光客に貸し出しては如何か。

関係課と連携し 検討して参りたい

本宮企画部長

市としては、管理用道路を市街地側に提案したいと考える。民地の敷地等の問題もあり期間を要するが、あやめ園の充実、各河岸跡の整備、二列河川、舟運、そして遊歩道が整備されてこそ前川整備は成り立つ。自転

車を利用した地域振興も有効な取り組みと思う。霞ヶ浦自転車道路も着手され、牛堀、潮来間の常陸利根川堤防も国土交通省によって舗装された。自転車の利活用、リサイクルの取り組みを関係課と連携、検討して参る。

再質問

小沼議員

「近きもの喜べば遠き者来る」非常に良い言葉である。二十一世紀の潮来市の発展は前川再開発がキーワードである事に間違いないと思う。「前川を考える検討委員会」「祭考会」等、今真剣に人と川の共生を考える人達が潮来には沢山いる。市民皆にこの計画を知らしめ、官民一体の町づくりの理解、協力をもらった地域から整備すべきと考え、市長の考えを伺う。

答弁

今泉市長

前川整備に関しての最優先は治水事業である。そこへ付加価値を高めるのが私の考え方。九月十二日に県議会の土木委員会の行政管内視察があり公式に初めて米島側に排水機場設置を要望することができ大きく前進した。本来、常陸利根川から鰯川までが前川、公園は我々の時代に作れる。川は我々の時代には作れない。次世代の人が作る為

に努力して行く。それが私の前川に対する最優先の考え方である。

中学生初の海外派遣研修

小沼議員

八月に市内の中学生の代表がサンアントニオ市へ研修に行った。子供達の感想と来年以降も継続するのかを伺う。

次年度も実施したい

吉田教育部長

八月二十日から十日間、中学生がサンアントニオ市を訪れ貴重な体験をした。今月の広報に報告会の内容が掲載される。来年六月にはあちから本市に訪れる事になり、次年度も実施をしたい。

水郷県民の森植樹祭について

小沼議員

二〇〇五年水郷県民の森で天皇・皇后両陛下をお招きする全国植樹祭が内定した事が新聞で報道されたが、これに伴う市の体制を伺う。

充実を要請する

本宮企画部長

天皇・皇后両陛下によるお手

植え、お手蒔きが行われ、参加者は一万人を超える規模で開催される。本市としても早速、受入充実を要請すると共に施策展開を図って参る。

旧潮来地区小学校のパソコン教室

小沼議員

旧潮来地区の小学校のパソコン教室には、エアコンの設備が無い。牛堀地区には設備され教育環境の不公平ではないか。

平成十四年度には設備する

吉田教育部長

教育委員、議会教育福祉委員よりも指摘があり、平成十四年度の予算には是非計上し設備したい。

消防団の合併

小沼議員

消防団も合併し多くの分団、部ができた。幾つかの町内が一つの消防団になる部の合併を考えてはいないのか。

協議を進めている

箕輪総務部長

分団、部の統合を考える基本的なパターンを作り分団長、役員、区長と協議し、その作業を進めているところである。



一般質問

公的預貯金ペイオフ保護対策を

黒 須 渡世栄 議員



ペイオフ解禁後の 預金保護について

黒須議員

来年四月から、金融機関が破綻した場合、ペイオフ制度は元本一千万円とその利息以外は保障されないが、公的預貯金の保護について伺う。

ペイオフ対応連絡会 議を設置

萩原収入役

平成十二年五月に預金保険法が改正され、地方公共団体の預金等についても対象となり、基

金、預託金等は平成十四年四月から、普通預金等についても平成十五年四月からペイオフ解禁となる。一千万円を超える部分について、保護措置がなくなる

ことから、公金管理については全庁的な立場から、関係部課一体となり情報を集約し、ペイオフに係る預金保護のため庁内に「ペイオフ対応連絡会議」を設置いたしました。今後は、「連絡会議」等の研究結果を踏まえて、公金管理等に万全を期して参ります。

ペイオフ解禁後の対策

今泉市長

平成十二年度末に預金法の改正によって、地方公共団体の普通預金、当座預金、通知預金等が対象となることから、ペイオフの対象外であります国債、地方債などに基金の振り分けを図りながら保護対策に努力して参りたい。

再質問

黒須議員

総務省において、金融機関の

経営状況調査の資料を一刻も早く知る方策を。

答弁

萩原収入役

国においては、十二年十一月地方公共団体のペイオフ解禁後の研究会が設置され、県においてもペイオフの対策協議会が設置されており、関係機関の情報収集に努力して参ります。

今泉市長

金融機関の経営状況入資は重要であり真剣に取り組まなければならぬ点もありますが、ペイオフ制度は、自己責任の構築であり、重要な問題を受止めて参ります。

学校耐震整備について

黒須議員

南関東直下型地震区域に入っている。三十年代に建設された小・中学校舎の地震災害に備えた耐震整備についての対応策を伺う。

古い施設から建替え

吉田教育部長

阪神・淡路大震災の文教施設の被害調査の結果によると、昭和五十六年以前に建築された建物損傷が大きく、国の耐震度の考え方は、昭和四十五年以前の

建物には、耐震度調査を行い建替え、昭和四十六年以降、五十六年建設施設は耐震度診断を行い、改築又は補強工事を行う二つの方法があり、現在古い施設から建替えを進めているところであります。

再質問

黒須議員

教育施設の耐震度調査の必要な施設は。

答弁

吉田教育部長

昭和五十六年以前に建設された潮来小、延方小、津知小、大生原小の五校があり耐震度調査の考えもありますが、財政上建設費の割がかかる点もあり、建替えを考えて行きたい。

期間委任事務と法定受託事務について

黒須議員

来年四月から、機関委任事務等であった国民年金事務等が法定受託事務となるが、市の事務処理はどう変わるのか伺う。

市事務処理は平成十四年四月から

内田福祉部長

機関委任事務制度の廃止に伴い、地方公共団体の処理事務を自治体事務と法定受託事務とに再構成され、地方分権計画の中で個別事務について法定受託事務と定められ、大きく変わるのは平成十四年四月からとなります。(一)納付書の差出人が社会保険事務所から第一号保険者に送付されます。(二)保険料の納入先が変わり金融機関社会保険事務所になります。(三)免除制度に半額免除制度が導入され、前年度の所得に応じ半額免除が可能になります。次の年金業務市役所で、資格取得、喪失、転入転出の届出事務、年金受託事務、(請求事務、死亡の場合の未支給事務、免除申請事務は今まで通り市役所窓口で出来ます。

循環型社会への取り組みについて

黒須議員

今年四月一日から、国等による「環境物品等の調達の推進に関する法律」等が施行されたが、市の対応状況を伺いたい。

地球温暖化対策実行委員会を設置

岡野環境経済部長

潮来市においては、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成十三年九月に、潮来市地球温暖化対策実行委員会を設置して、対策実行計画策定に向け準備を進めグリーン購入法に基づき総合的な計画を定め年次的に推進を図って行きたいと考えております。

ゴミ集積所の美観保護対策を

黒須議員

市指定の袋以外に入れたゴミの投げ捨て等による美観や衛生が保てない集積所が見受けられることから、市の対応策を伺いたい。

地区説明会の実施

岡野環境経済部長

潮来市全体で約千二百箇所の

集積所がありますが、原則、集積所の管理は、共同の場として集積所に不分別のまま残されたゴミ、不法投棄されたゴミは利用者の皆さんで分別をして通常の回収日に出して処理して頂くこととなります。又分別を徹底し不法投棄の防止等を図るため、十月十五日より十二月二日まで地区説明会等を実施して、環境にやさしいまちづくりを推進してまいります。



一般質問

市長公印のない「身分証明書」発行 (本庁窓口) 担当部長に報告なし

今泉 利 拓 議員



職員がいる。係長がいる。主任係長がいる。その上に副参事、課長補佐、室長課長。その上に、参事、部長。その上に助役、市長となる。何故こんな複雑な組織にしたのか。もともとトップに伝わる組織にし直すべきだと思う。

福祉部長にうかがう。六月四日午後、本庁の窓口で、市長公印の押されていない「身分証明書」が発行された。担当から、いつ報告をうけたか。

行政改革の努力なし

今泉議員

八代、牛堀地区での市政懇談会で印象に残った事。

(一) 四月の市役所の職員配置を見て、町村合併のメリッ
トである行政改革の努力の
跡が見られない。

(二) 人口三万二千人位の潮来で、何故助役が二人も必要なのか。という指摘があった。市民の目は、大変厳しいと感じた。指摘された通り、今の市役所の組織は複雑すぎる。

報告受けていない

内田福祉部長

報告は受けていない。今後ミ
スのおきない様研究を進め、徹
底を図っていききたい。

提言

今泉議員

こういう(窓口の)重大なこ
とが、部長にも連絡がない。何
故(こんなミスが)起きたか。
合併によって職員数が増え組織
が複雑になった。職員の間には
緊張感がなくなってきた。職員
に具体的に緊張感を与える方

法として、市長は、八時三十分には市長室にいるように。どんなに疲れていても、いやしくも市のトップだ。リーダーだ。自分から疲れた体に鞭うってでも実行すべきだ。そうすることが、知らず知らず、職員の間には緊張感を生む事になると思う。あとは自覚の問題だ。

牛堀担当助役は、前 町長室から、前収入 役室へ居場所を移せ

今泉議員

牛堀担当助役が就任して五ヶ月。どのような内容の相談が、何件位、牛堀の皆さんから来ているか。

牛堀のことは支所で 迅速な対応を！

小沢助役

議員、区長、一般市民から多い時で四、五件相談がある。市長から、「相談された事は、タライ回しはするな」と言われている。支所長、市民福祉課長とも相談し、迅速な処理を心がけている。三年の調整の間は、旧牛堀市民に負担がかからない様、スムーズに飛び立てる様努力している。

要望

今泉議員

市長が、牛堀担当助役をおいたのは、「牛堀地区の人達に、合併について不安がある。精神的支えとして」と説明している。

それなら、より牛堀の人達が小沢助役に気軽に相談できるように、前町長室から、前収入役室に居場所を移すべきだと思う。自らの判断でやってもらいたい。

「高速バスターミナル」と「道の駅」について

今泉議員

高速バスターミナルを潮来インターチェンジ西側。敷地面積一・三ヘクタール。総事業費四億円。国土交通省の補助事業でやるという事だが、坪当たりの買収価格はいくらか。国の補助はいくらか。県は。バス会社の負担は。

「高速バスのターミナル」部分だけを国の補助対象に

本宮企画部長

坪当たり単価は、不動産鑑定によりこれから決定。現時点では差し控えたい。国の補助は「バスターミナル」部分を対象に考えている。この場合、国の補助は二分の一(全体費用の四分の

一相当)。残りの駐車場は、市の単独事業で。県の道路公社に自分の負担を。バス会社は、「バスターミナル」の維持管理費に自分の負担を要請中。

再質問

今泉議員

「高速バスターミナル」は、一・三ヘクタール。四億円もかけないで出来るのではないか。高塚議員から、敷地面積六千㎡。駐車場四千五百㎡。建物、鉄骨平屋建て百六十㎡でも充分ではないかと提案が来ている。とにかく市の負担を少しでも減らすようにすべきだ。私は「高速バスターミナル」と「道の駅」とは一体化すべきだと考えている。「道の駅」もやる以上は成功してもらいたいと考えている。議会建設委員会は、「道の駅」に一人でも多くお客さんと呼ぶ努力をしている新潟県新井市の「道の駅」を視察する。この「道の駅」は、上信越自動車道の新井パーキングからも利用出来る様にしたという。議員も努力をしている。「高速バスターミナル」を「道の駅」に。改めて市長に要望する。

答弁

今泉市長

「高速バスターミナル」は、

潮来インターチェンジの西側にと場所を特定し、補正予算を計上、議決された。「高速バスターミナル」と「道の駅」は分けて進める。

大洲保育所は 大洲に残せ

今泉議員

潮来市幼児施設検討委員会から平成十四年四月、大生原幼稚園の延方幼稚園への統合。平成十五年四月に、津知幼稚園の延方幼稚園への統合。大洲保育所の津知への移転等が答申された。市長は、大洲保育所の跡に何か建物を建てたいと考えているのかどうか。

答弁

今泉市長

今の所考えていない。

提言

今泉議員

幼児施設の統廃合は、行政側の一方的な判断や押しつけで強行すべきではない。子供たちを保育所や幼稚園に預ける側、すなわち市民の側に立った行政こそすべきだと思う。特に大洲保育所を津知に移転する。市長は大洲保育所を無くす理由に、「大洲保育所は古くなり、建替えるのにも金がかかるから」と

言ってきた。大洲保育所の跡に建物を建てるようになったら、何のために大洲保育所を津知に移転するのか意味はない。市長は、日の出地区の人口増を図る一つの方法として中学校も建てたのではないか。日の出地区の人口増に期待はされていると思う。将来の人口増を考え、大洲保育所は大洲において置く。そして、私立保育所には負けない市立保育所づくり、市をあげて取組む。こういう姿勢こそ市は示すべきだと思う。

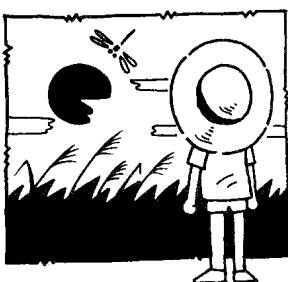
(その他の質問)

◎「芸能人の画を集めた美術館」見直しについて

◎地方自治体の預金は、ペイオフから外す。国への働きかけ継続を

◎潮来市内、小中学校の不登校、校内暴力の現状と対策

◎来年四月からの小中学校週休二日制に対する取り組みについて



議会議員活動日誌（6～9月）

5月29日	第2回潮来市議会定例会(～8日)	全議員
6月1日	関東高校ボート大会開会式	議長
10日	あやめ祭剣道大会	議長
	あやめ祭関東俳句大会	議長
18日	牛堀地区生産調整推進対策協議会	議長・環境経済委員長
19日	行方地域農業振興協議会	議長
20日	行方地域正副議長交流会	議長・副議長
21日	高齢者クラブ研修会(～22日)	議長
22日	霞ヶ浦大規模自転車道総会	副議長
25日	幼児施設検討委員会	議長・教育福祉委員長
26日	霞ヶ浦流域下水道協議会総会	関係議員
	国保運営協議会	議長・総務委員長
28日	広島県豊浜町議会来庁	議長
	青森県東北町議会来庁	議長
7月3日	佐賀県東松浦郡議長会来庁	議長
	広島県御調郡議長会来庁	議長
	ガライヤ陶芸展	全議員
4日	宮崎県西都市議会来庁	副議長
	東関東自動車道促進期成同盟会総会	議長
	各種団体連絡会議	副議長
5日	秋田県山本町議会来庁	議長
	福島県浪江町議会来庁	議長
6日	全員協議会	全議員
8日	水防演習	議長
10日	香川県詫間町議会来庁	議長
11日	兵庫県関宮町議会来庁	議長
	岩瀬町議会来庁	議長
	麻生地区交通対策協議会	議長
12日	社会福祉協議会研修会(～13日)	議長
13日	議会運営委員会協議会	議会運営委員
15日	中央公民館陶芸室窯入れ式	議長
17日	㈱いたこ設立総会	議長
	宮崎県清武町議会来庁	副議長
18日	宮崎県野尻町議会来庁	議長
	埼玉県花園町議会来庁	議長
	教育福祉委員会協議会	教育福祉委員
19日	県北鹿行市議会議長会	議長
20日	潮来市子ども会対抗球技大会	教育福祉委員長
23日	水戸神栖玉里水戸線道路建設促進期成同盟会総会	議長
24日	岩手県江刺市議会来庁	議長
	東関東自動車道促進期成同盟会総会	議長
	水郷牛堀観光協会総会	議長
28日	日の出地区祭礼	地元議員
29日	延方相撲	地元議員
	水原八坂神社祭礼	地元議員
30日	行方郡議会議員研修会	議長
31日	潮来市防犯連絡協議会	副議長
	行方地域医療協議会	議長
8月1日	全員協議会	全議員

2日	奈良県都祁村議会来庁	議運委員長
	潮来市住居表示審議会	関係議員
	鳥取県関金町議会来庁	議長
3日	福島県会津坂下町議会来庁	議長
5日	硯宮神社祭礼	地元議員
7日	潮来祇園(～9日)	地元議員
8日	栃木県南河内町議会来庁	議長
	長崎県議会来庁	議長
17日	中学生海外派遣出発式	議長
18日	潮来市長杯スポーツ少年団球技大会	議長
	行方地域首長議長研修会(～25日)	議長
19日	次郎長チャリティーカラオケ大会	副議長
20日	秋田県仁賀保町議会来庁	副議長
21日	岩手県一関市議会来庁	副議長
22日	和歌山県高野町議会来庁	議運委員長
24日	岐阜県瑞浪市議会来庁	副議長
25日	リバーサイドパーティー IN うしぼり(～26日)	全議員
28日	和歌山県貴志川町議会来庁	議長
	山梨県高根町議会来庁	議長
29日	長崎県高来町議会来庁	副議長
30日	福島県本宮町議会来庁	議長
	環境経済委員会協議会	環境経済委員
9月2日	潮来市レガッタ2001大会出場	関係議員
	なめがた地域総合病院運営報告会	議長
4日	議会運営委員会	議長・議会運営委員
5日	総務委員会協議会	総務委員
6日	教育福祉委員会協議会	教育福祉委員
	全員協議会	全議員
7日	麻生地区交通安全対策協議会	議長
8日	日の出中学校体育祭	地元議員
9日	潮来第二・牛堀中学校体育祭	地元議員
15日	敬老会	全議員
16日	潮来・津知小学校運動会	地元議員
17日	大生原小運動会	地元議員
18日	第3回潮来市議会定例会(～21日)	全議員
21日	建設委員会協議会	建設委員
	広報委員会	広報委員
22日	延方・牛堀第一・八代小学校運動会	地元議員
	全国おどりの響演(～23日)	全議員
23日	徳島・牛堀第二小学校運動会	地元議員
24日	日の出小運動会	地元議員
26日	議長杯クロッケー大会	議長
	広島県安芸高田広域連合議会来庁	議長
27日	人権同和対策研修会	全議員
28日	潮来市住居表示審議会	関係議員
	生産調整小委員会	関係議員
29日	津知・延方・うしぼり幼稚園運動会	地元議員
30日	コスモスまつり	全議員

環境経済委員会研修視察

期 日 七月二四日～二六日
研修地 徳島県徳島市
愛媛県小松市

内 容 阿波おどりの由来と
会館の運営
小松オアシスの運営
(道の駅)

阿波おどりの起源には、築城を祝ったおどりで、盆おどりからとの説がある。一五八六年以降、蜂須賀藩時代に藍や塩で富を蓄積した藩政の奨励もあって阿波おどりが発展したそうです。時代の流れの中で鳴物、おどり、衣装等も変化しつつ、昭和初期に観光資源と位置付けをし、戦後も発展を続け現在の阿波おどりになったそうです。また阿波おどりに歌われている「よしこの節」は江戸時代に流行した潮来節が藍商人によって伝えられ、元歌となって生まれたいわれています。この阿波

おどりは国内を代表する、踊りであるとともに広く国外にも知られている踊りでもあります。本場の阿波おどりをいつでも楽しめる施設として、平成十一年阿波おどり会館が徳島市によつて建設されました。事業費約三三億円、地上五階地下一階、延床面積五二五〇㎡の建物であり、館内には情報コーナー、阿波おどりライブラリー、阿波おどりホール、阿波おどりミュージアム等が整備されています。運営については、徳島市社団法人観光協会が行っています。

小松オアシスは、国道十一号と一九六号が交差する交通の要所に、松山自動車道の小松IC及び石鎚SAが整備されたことに伴い、一般道からも、又高速道からも利用可能な道の駅「小松オアシス」が平成十一年八月オープンしたそうです。この施設の総面積は、十五haで公園も整備されています。

道の駅施設の延床面積は三四〇〇㎡で館内には西日本最高峰石鎚山をテーマとした展示館、四国の自然をテーマとした石鎚写真美術館、またレストラン、会議室等の休憩、休息のスペースも整備されています。屋外には地元農産物の販売所が設けられており、年間売上高約三〇〇〇万円。今後は、一億円の売上を目指しているそうです。運営については、小松町が行っています。

委員長 堀 信一
副委員長 杉 本 俊一
委員 小 沼 昭 郎
塚 本 誠 一
芝 田 貢
羽 生 征 司
藤 崎 忠 徳
薄 井 征 記





全国市町村交流 レガッタ出場に向け 議会選抜チーム猛練習

十月二十一日（日）に宮崎県新富町で開催される全国市町村交流レガッタ出場に向け、現在議会選抜チームが猛練習をしています。

311-2493

潮来市議会議長宛
潮来市議会議長宛

議会からのお願い

市議会議長あての文書・案内状などは
市議会事務局へ送付下さる
ようお願いします。



議会に請願（陳情） される方のために

- 一、様式 請願書は先の様式に準じ邦文で作成してください。
- 二、紹介議員 請願には紹介議員が必要であり、表紙に署名又は記名・押印を受けて下さい。
- 三、紹介議員のない場合 議員の紹介を得られなかった方は陳情書として下さい。
- 四、提出部数 請願書は一部提出して下さい。
- 五、問い合わせ 請願手続きなどについては、議会事務局にお問い合わせ下さい。

〇〇〇〇に関する
請 願 書

紹介議員
氏 名
署名又は
記名押印

〇年〇月〇日

潮来市議会議長殿
(提出者)

住 所
氏 名 印

〇〇〇〇に関する請願
要旨

理由

議会を傍聴して



潮来市牛堀商工会女性部長

越川 節子さん

平成十三年九月二十日、第三回潮来市議会定例会一般質問の折に、許される時間ではありましたが、潮来市牛堀商工会女性部の方々と共に、初めて議会傍聴をさせて頂きました。

新生潮来市誕生は、特例を得て生まれた「市」、メディアに乗って全国的に報道されたこともあり、連日の様に潮来市へ各自治体が訪問されている等、広く注目されている「市」と聞いております。

合併から生まれた潮来市の今と明日への進むべき行政の道を審議される「市議会」を傍聴できる喜びに市庁舎を訪問しました。三四名の住民代表である議員の皆様方の後方、傍聴席に座り、議会審議を拝聴いたしました。

牛堀・潮来という区分けもなく、神聖な議場の雰囲気を全身

に感じながら、限られた時間を傍聴することが出来ました。

行政を執行されている責任者の皆様方と、私達の住民の代表である議員の方々と静かな議場ですが緊張に包まれている感じがします。開会と共に議員さんからの質問が始まりました。不況の深刻化による大幅税収減に関する事。健康保険に関する住民負担。少子化に係る幼稚園の在り方等々。別の議員さんは、牛堀エリアの三小学校の統合についてを質問し、親にとつて子供の健康と安全に最大限の関心に関する問題や、幼稚園の送迎、その諸費用に関する事。また生活環境に関する美観的施設の諸事項等とまさに、私達の日々の生活に密着したことがらが討議なされ、それらの諸事一つひとつについて、執行部の方より答

弁され、潮来市の明日への対応が決まって行くことが、驚きと共に理解できました。

今までは、隣の町のことであった私達にとって、無関心ではいられないほど、議会審議は、幅広い潮来市民の細部にまでとらえて、論戦を交わされている状況を知り得ることが出来ました。うれしいかぎりです。

議会を傍聴することは、自分にとって、明日の潮来市の方向性や、生活環境に対する姿勢等自分のこととして、日常生活にかかわる事なのだと感じました。私は、議会で協議され、審議されたことが決定され、そのまま市制としての方向性を持ち実行されて行くことを。同時に私は、この議会の審議こそが私達地域の生活環境等が決められてしまう場であることを知りました。議会の承認は、住民の承認

に変わることを。とても大切です。

日々、自分の生活に追われて暮している私ですが、御苦労を願う執行部の皆様と議員の皆様と、一人ひとりが持たれる感性、責任の重大さを市民のために、目線の違いと視点の違いを鋭く持つて頂き、益々新生潮来市が輝く「市」であり、ここに生活

する誰もが笑顔と希望の持てる地域になる姿を願って審議決定される議会を望んでやみません。一にも二にも自分自身が、勉強出来た事に感謝し、議会傍聴をした私の感想として、述べさせていたただきながら、皆様の御活躍に期待をしてエールを送らせていただきます。



議会傍聴



新生潮来の発展を願って

潮来地区代表区長 高崎康之さん

今年のおどりの響演も大盛況のもと終了しました。少し冷え込み肌寒く感じましたが、踊子も見物人も寒さを吹き飛ばす熱気がありました。物産展も大変な賑わいで、新生潮来を祝福するようなイベントであったと思います。

社会情勢も経済も不安な現況ですが、活気ある、あったかいまち、いたこの発展を心から願っています。

住民のひとりとして、今一番関心を持っていることは、環境と教育問題です。

観光のまち、水郷いたこにとって環境の保全・整備は大きな課題でもあります。毎年、沢山の観光客が足を運んでくれますが、あやめ、川だけに頼って

いるだけでは、これからが心配になります。川の汚れはなかなか良くなりません。ゴミが散らかっている所も沢山あります。市民一人ひとりの心がけだけでは解決しません。街を歩いていても明るさ、美しさを感じさせる何かが足りないと思います。

次に「米百俵」ではありませんが、将来を背負う子供達の健全な育成です。一人ひとりの子供達は皆素晴らしい力を持っています。集団でも優れた力を発揮します。一方で、不登校・いじめ・非行問題等様々な課題を持つているのですが、先生方は子供を信じて熱心に指導しています。家庭でも真剣に対応しています。子供の教育については、優先的に対処されなければなら

ません。

財政厳しいときですが、環境の保全・整備に、教育環境の充実に更なるご尽力をいただきたいと思います。

私自身、議会を傍聴する機会は少なかったのですが、この議会だよりは毎回楽しみにしています。広報いたこと共に貴重な情報源になっています。市政の状況、議会活動の様子等、住民に情報提供することは、住民と共にまちづくりを進める上で大変重要なことです。これからこの議会だよりが益々充実することを祈念、ご期待申し上げます。



編集後記

新生潮来市が誕生し、早くも半年が経過しました。その間、私達市議会も数多くの活動を展開しております。

今年の夏は、記録的な猛暑でしたが、昨今は、過ごしやすい季節となりました。そういった中、第三回定例会が行われ、補正予算、数多くの議案等が可決されました。

広報委員会も「議会だより」の編集にあたり、読者にわかりやすい広報に努めて参ります。

(T・F)

議会広報編集委員会

委員長	山 沢 三千子
副委員長	今 泉 利 拓
委員	内 田 正 一
〃	根 本 又 男
〃	加 藤 政 司
〃	藤 崎 忠 徳
〃	大久保 英 雄

